

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部都市プロモーション課	■担当係	都市ブランド戦略係
■評価事業名称	シティプロモーション推進事業(都市プロモーション課)		
■事業開始年度	平成27年度		
■評価事業コード	010300 - 201	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	07 シティプロモーションの推進	
	■施策	01 シティプロモーションの推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	外部プロモーション(都市のブランディング基盤整備、各施策におけるシビックプライド醸成事業の推進)内部プロモーション(外部プロモーションを支える、職員スキルアップ、組織体制整備、マニュアル策定等)		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	シティプロモーション推進事業	市民、職員	○ロゴマークの認知を高めるための取り組みを推進する。○魅力確認の着地点となるメディアを整備する。○市民と共に魅力発信を推進し、シビックプライドを醸成する。	○ロゴマーク使用許可8件○都市ブランドサイト作成○暮らし・愉しむ景観フォーラム開催○職員名刺作成、配布○可搬式バックパネル作成○クリアファイル、のぼり作成○ピンバッジ作成○庁内会議資料チェック、指導99件○資料作成研修1回○チラシ評価と各課等へのフィードバック

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	3,381	5,897	7,246	11,944	
人件費	8,564	19,973	11,065	7,070	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,945	25,870	18,311	19,014	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	転入超過数	865人				指標見直し
02	都市ブランドサイト・市公式HPの閲覧数					今後設定

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

03	これからも北上市に住み続けたいと思う人の割合	90.9%	85.3%	85.3%	88.1%	北上市民の地域への愛着と誇りが醸成されているか。
04	主要広報媒体への共感					今後設定
05	ブランドメッセージ活用件数			31件	26件	市民+行政
06	SNSでの発信量					今後設定

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

ブランドサイトを作成し、市の魅力発信を行った。魅力発信につながる各種グッズ等を作成した。各種資料やチラシ等作成に係る研修や指導等を行った。

問題点・課題等

ブランドサイトの認知度が低い。市の魅力発信が市民等へ十分には届いていない。各種グッズ等の活用方法に検討が要る。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

ブランドサイトや各種グッズ等のより効果的かつ効率的な運用を図る。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了